

宮城県工業高等学校 [全日制課程 (機械科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県工業高等学校は、「誠実、節度、創造」を校訓とし、県内の工業教育を牽引する工業高校として、確かな学力と高い専門性を習得させるとともに、グローバル化が一層進展する社会や超スマート社会 (Society5.0) に対応するために必要な資質・能力を育成します。“もの (技術) づくり, ひと (人材) づくり, ゆめ (未来) づくり” をキャッチフレーズに、グローバルな視野を持ち、ものづくり産業で活躍できる人材を育成することで、地域社会に貢献する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 礼儀正しく、何事にも真心をもって、根気強く主体的に取り組む姿勢を育成します。
＜誠実な生徒＞
- 自らの行動に責任をもち、思いやりと協調性をもって活躍する資質を育成します。
＜節度ある生徒＞
- 高い志と向上心をもち、意欲的に課題解決と自己の確立に努める能力を育成します。
＜創造的な生徒＞

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 普通科目と工業科目を両輪とした確かな学力を育成します。
→普通科目では工業科目を学ぶ上で核となる基礎力を、工業科目では技術の進展に対応した実践的な知識と技術を養います。
- 地域と協働した学びや教科横断的な学びをもとに、探究的な学びへとつなげていきます。
→みやぎクラフトマン 21 事業を通じて、大学や産業界と協働しながら教科横断的な学習に取り組み、各工業分野が抱える課題を自ら設定し、習得した知識と技術をもとに解決する方法を模索します。
- 各学科の特色ある学びや多様な選択科目を通じて、個に応じた学びを実現します。
→「県工スタンダードABC」に定めた指標を基に、個に対する学習支援を段階的に行い、各学科の専門的な知識・技術の習得に主体的に取り組めるようにします。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 機械工業及びこれに関する諸分野に興味・関心があり、学習活動に意欲的に取り組む生徒
- 基本的な生活習慣が身に付いており、何事にも真剣に取り組む、日々の学習を大事にする生徒
- 自己の進路実現のために継続的に努力できる生徒
- 日頃の学習に併せて機械科の専門性を生かした資格取得や特別活動にも積極的に取り組む生徒
- 部活動、特別活動、校外活動等で優れた能力や顕著な実績がある生徒
- 部活動や特別活動等でのリーダーの経験がある生徒

学校名	宮城県工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	機械科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	電子機械科、電気科、化学工業科、インテリア科、情報技術科	
	共通選抜		
	募集人数	56人（募集定員の 70 %）	
	学力検査:調査書	5 : 5	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。		
	特色選抜		
	募集人数	24人（募集定員の 30 %）	
	配点	1 調査書 195点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	695点
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する24人の135%の範囲に含まれる者（32人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	525点
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県工業高等学校 [全日制課程 (電子機械科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県工業高等学校は、「誠実、節度、創造」を校訓とし、県内の工業教育を牽引する工業高校として、確かな学力と高い専門性を習得させるとともに、グローバル化が一層進展する社会や超スマート社会 (Society5.0) に対応するために必要な資質・能力を育成します。“もの (技術) づくり, ひと (人材) づくり, ゆめ (未来) づくり” をキャッチフレーズに、グローバルな視野を持ち、ものづくり産業で活躍できる人材を育成することで、地域社会に貢献する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 礼儀正しく、何事にも真心をもって、根気強く主体的に取り組む姿勢を育成します。
＜誠実な生徒＞
- 自らの行動に責任をもち、思いやりと協調性をもって活躍する資質を育成します。
＜節度ある生徒＞
- 高い志と向上心をもち、意欲的に課題解決と自己の確立に努める能力を育成します。
＜創造的な生徒＞

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 普通科目と工業科目を両輪とした確かな学力を育成します。
→普通科目では工業科目を学ぶ上で核となる基礎力を、工業科目では技術の進展に対応した実践的な知識と技術を養います。
- 地域と協働した学びや教科横断的な学びをもとに、探究的な学びへとつなげていきます。
→みやぎクラフトマン 21 事業を通じて、大学や産業界と協働しながら教科横断的な学習に取り組み、各工業分野が抱える課題を自ら設定し、習得した知識と技術をもとに解決する方法を模索します。
- 各学科の特色ある学びや多様な選択科目を通じて、個に応じた学びを実現します。
→「県工スタンダードABC」に定めた指標を基に、個に対する学習支援を段階的に行い、各学科の専門的な知識・技術の習得に主体的に取り組めるようにします。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- メカトロニクス工業及びこれに関する諸分野に興味・関心があり、学習活動に意欲的に取り組む生徒
- 基本的な生活習慣が身に付いており、何事にも真剣に取り組む、日々の学習を大事にする生徒
- 自己の進路実現のために継続的に努力できる生徒
- 日頃の学習に併せて電子機械科の専門性を生かした資格取得や特別活動にも積極的に取り組む生徒
- 部活動、特別活動、校外活動等で優れた能力や顕著な実績がある生徒
- 部活動や特別活動等でのリーダーの経験がある生徒

学校名	宮城県工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	電子機械科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電気科、化学工業科、インテリア科、情報技術科	
	共通選抜		
	募集人数	28人（募集定員の 70 %）	
	学力検査:調査書	5 : 5	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。		
	特色選抜		
	募集人数	12人（募集定員の 30 %）	
	配点	1 調査書 195点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	695点
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する12人の135%の範囲に含まれる者（16人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	525点
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県工業高等学校 [全日制課程 (電気科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県工業高等学校は、「誠実、節度、創造」を校訓とし、県内の工業教育を牽引する工業高校として、確かな学力と高い専門性を習得させるとともに、グローバル化が一層進展する社会や超スマート社会 (Society5.0) に対応するために必要な資質・能力を育成します。“もの (技術) づくり, ひと (人材) づくり, ゆめ (未来) づくり” をキャッチフレーズに、グローバルな視野を持ち、ものづくり産業で活躍できる人材を育成することで、地域社会に貢献する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 礼儀正しく、何事にも真心をもって、根気強く主体的に取り組む姿勢を育成します。
＜誠実な生徒＞
- 自らの行動に責任をもち、思いやりと協調性をもって活躍する資質を育成します。
＜節度ある生徒＞
- 高い志と向上心をもち、意欲的に課題解決と自己の確立に努める能力を育成します。
＜創造的な生徒＞

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 普通科目と工業科目を両輪とした確かな学力を育成します。
→普通科目では工業科目を学ぶ上で核となる基礎力を、工業科目では技術の進展に対応した実践的な知識と技術を養います。
- 地域と協働した学びや教科横断的な学びをもとに、探究的な学びへとつなげていきます。
→みやぎクラフトマン 21 事業を通じて、大学や産業界と協働しながら教科横断的な学習に取り組み、各工業分野が抱える課題を自ら設定し、習得した知識と技術をもとに解決する方法を模索します。
- 各学科の特色ある学びや多様な選択科目を通じて、個に応じた学びを実現します。
→「県工スタンダードABC」に定めた指標を基に、個に対する学習支援を段階的に行い、各学科の専門的な知識・技術の習得に主体的に取り組めるようにします。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 電気機器製造業、電気事業・電気工事及びその他電気関係の諸分野に興味・関心があり、学習活動に意欲的に取り組む生徒
- 基本的な生活習慣が身に付いており、何事にも真剣に取り組む、日々の学習を大事にする生徒
- 自己の進路実現のために継続的に努力できる生徒
- 日頃の学習に併せて電気科の専門性を生かした資格取得や特別活動にも積極的に取り組む生徒
- 部活動、特別活動、校外活動等で優れた能力や顕著な実績がある生徒
- 部活動や特別活動等でのリーダーの経験がある生徒

学校名	宮城県工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	電気科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電子機械科、化学工業科、インテリア科、情報技術科	
	共通選抜		
	募集人数	28人（募集定員の 70 %）	
	学力検査:調査書	5 : 5	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。		
	特色選抜		
	募集人数	12人（募集定員の 30 %）	
	配点	1 調査書 195点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	695点
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する12人の135%の範囲に含まれる者（16人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	525点
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県工業高等学校 [全日制課程 (情報技術科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県工業高等学校は、「誠実、節度、創造」を校訓とし、県内の工業教育を牽引する工業高校として、確かな学力と高い専門性を習得させるとともに、グローバル化が一層進展する社会や超スマート社会 (Society5.0) に対応するために必要な資質・能力を育成します。“もの (技術) づくり, ひと (人材) づくり, ゆめ (未来) づくり” をキャッチフレーズに、グローバルな視野を持ち、ものづくり産業で活躍できる人材を育成することで、地域社会に貢献する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 礼儀正しく、何事にも真心をもって、根気強く主体的に取り組む姿勢を育成します。
＜誠実な生徒＞
- 自らの行動に責任をもち、思いやりと協調性をもって活躍する資質を育成します。
＜節度ある生徒＞
- 高い志と向上心をもち、意欲的に課題解決と自己の確立に努める能力を育成します。
＜創造的な生徒＞

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 普通科目と工業科目を両輪とした確かな学力を育成します。
→普通科目では工業科目を学ぶ上で核となる基礎力を、工業科目では技術の進展に対応した実践的な知識と技術を養います。
- 地域と協働した学びや教科横断的な学びをもとに、探究的な学びへとつなげていきます。
→みやぎクラフトマン 21 事業を通じて、大学や産業界と協働しながら教科横断的な学習に取り組み、各工業分野が抱える課題を自ら設定し、習得した知識と技術をもとに解決する方法を模索します。
- 各学科の特色ある学びや多様な選択科目を通じて、個に応じた学びを実現します。
→「県工スタンダードABC」に定めた指標を基に、個に対する学習支援を段階的に行い、各学科の専門的な知識・技術の習得に主体的に取り組めるようにします。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- コンピュータシステムの設計・開発やコンピュータを利用する分野に興味・関心があり、学習活動に意欲的に取り組む生徒
- 基本的な生活習慣が身に付いており、何事にも真剣に取り組む、日々の学習を大事にする生徒
- 自己の進路実現のために継続的に努力できる生徒
- 日頃の学習に併せて情報技術科の専門性を生かした資格取得や特別活動にも積極的に取り組む生徒
- 部活動、特別活動、校外活動等で優れた能力や顕著な実績がある生徒
- 部活動や特別活動等でのリーダーの経験がある生徒

学校名	宮城県工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	情報技術科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電子機械科、電気科、化学工業科、インテリア科	
	共通選抜		
	募集人数	28人（募集定員の 70 %）	
	学力検査:調査書	5 : 5	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。		
	特色選抜		
	募集人数	12人（募集定員の 30 %）	
	配点	1 調査書 195点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	695点
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する12人の135%の範囲に含まれる者（16人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	525点
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県工業高等学校 [全日制課程 (化学工業科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県工業高等学校は、「誠実、節度、創造」を校訓とし、県内の工業教育を牽引する工業高校として、確かな学力と高い専門性を習得させるとともに、グローバル化が一層進展する社会や超スマート社会 (Society5.0) に対応するために必要な資質・能力を育成します。“もの (技術) づくり, ひと (人材) づくり, ゆめ (未来) づくり” をキャッチフレーズに、グローバルな視野を持ち、ものづくり産業で活躍できる人材を育成することで、地域社会に貢献する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 礼儀正しく、何事にも真心をもって、根気強く主体的に取り組む姿勢を育成します。
＜誠実な生徒＞
- 自らの行動に責任をもち、思いやりと協調性をもって活躍する資質を育成します。
＜節度ある生徒＞
- 高い志と向上心をもち、意欲的に課題解決と自己の確立に努める能力を育成します。
＜創造的な生徒＞

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 普通科目と工業科目を両輪とした確かな学力を育成します。
→普通科目では工業科目を学ぶ上で核となる基礎力を、工業科目では技術の進展に対応した実践的な知識と技術を養います。
- 地域と協働した学びや教科横断的な学びをもとに、探究的な学びへとつなげていきます。
→みやぎクラフトマン 21 事業を通じて、大学や産業界と協働しながら教科横断的な学習に取り組み、各工業分野が抱える課題を自ら設定し、習得した知識と技術をもとに解決する方法を模索します。
- 各学科の特色ある学びや多様な選択科目を通じて、個に応じた学びを実現します。
→「県工スタンダードABC」に定めた指標を基に、個に対する学習支援を段階的に行い、各学科の専門的な知識・技術の習得に主体的に取り組めるようにします。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 化学工業、環境及びこれらに関する諸分野に興味・関心があり、学習活動に意欲的に取り組む生徒
- 基本的な生活習慣が身に付いており、何事にも真剣に取り組む、日々の学習を大事にする生徒
- 自己の進路実現のために継続的に努力できる生徒
- 日頃の学習に併せて化学工業科の専門性を生かした資格取得や特別活動にも積極的に取り組む生徒
- 部活動、特別活動、校外活動等で優れた能力や顕著な実績がある生徒
- 部活動や特別活動等でのリーダーの経験がある生徒

学校名	宮城県工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	化学工業科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電子機械科、電気科、インテリア科、情報技術科	
	共通選抜		
	募集人数	28人（募集定員の 70 %）	
	学力検査:調査書	5 : 5	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。		
	特色選抜		
	募集人数	12人（募集定員の 30 %）	
	配点	1 調査書 195点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	695点
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する12人の135%の範囲に含まれる者（16人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	525点
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県工業高等学校 [全日制課程 (インテリア科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県工業高等学校は、「誠実、節度、創造」を校訓とし、県内の工業教育を牽引する工業高校として、確かな学力と高い専門性を習得させるとともに、グローバル化が一層進展する社会や超スマート社会 (Society5.0) に対応するために必要な資質・能力を育成します。“もの (技術) づくり, ひと (人材) づくり, ゆめ (未来) づくり” をキャッチフレーズに、グローバルな視野を持ち、ものづくり産業で活躍できる人材を育成することで、地域社会に貢献する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 礼儀正しく、何事にも真心をもって、根気強く主体的に取り組む姿勢を育成します。
＜誠実な生徒＞
- 自らの行動に責任をもち、思いやりと協調性をもって活躍する資質を育成します。
＜節度ある生徒＞
- 高い志と向上心をもち、意欲的に課題解決と自己の確立に努める能力を育成します。
＜創造的な生徒＞

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 普通科目と工業科目を両輪とした確かな学力を育成します。
→普通科目では工業科目を学ぶ上で核となる基礎力を、工業科目では技術の進展に対応した実践的な知識と技術を養います。
- 地域と協働した学びや教科横断的な学びをもとに、探究的な学びへとつなげていきます。
→みやぎクラフトマン 21 事業を通じて、大学や産業界と協働しながら教科横断的な学習に取り組み、各工業分野が抱える課題を自ら設定し、習得した知識と技術をもとに解決する方法を模索します。
- 各学科の特色ある学びや多様な選択科目を通じて、個に応じた学びを実現します。
→「県工スタンダードABC」に定めた指標を基に、個に対する学習支援を段階的に行い、各学科の専門的な知識・技術の習得に主体的に取り組めるようにします。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- デザイン技術・インテリア施工、建築設計等の諸分野に興味・関心があり、学習活動に意欲的に取り組む生徒
- 基本的な生活習慣が身に付いており、何事にも真剣に取り組む、日々の学習を大事にする生徒
- 自己の進路実現のために継続的に努力できる生徒
- 日頃の学習に併せてインテリア科の専門性を生かした資格取得や特別活動にも積極的に取り組む生徒
- 部活動、特別活動、校外活動等で優れた能力や顕著な実績がある生徒
- 部活動や特別活動等でのリーダーの経験がある生徒

学校名	宮城県工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	インテリア科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電子機械科、電気科、化学工業科、情報技術科	
	共通選抜		
	募集人数	28人（募集定員の 70 %）	
	学力検査:調査書	5 : 5	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。		
	特色選抜		
	募集人数	12人（募集定員の 30 %）	
	配点	1 調査書 195点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	695点
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する12人の135%の範囲に含まれる者（16人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	525点
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	